

いなみ野の風

特定医療法人社団仙酔会いなみ野病院
住所 加古川市平岡町土山字川池423-2
TEL 078-941-1730
FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://www.h2.dion.ne.jp/~inamino>
メールアドレス inamino@k4.dion.ne.jp

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 I M 広報委員会

「第50回日本老年医学会 学術集会」に出席し

学術集会に出席し

いなみ野病院院長 長谷川 和男

第五十回日本老年医学会学術集会は、平成二十年六月十九～二十一日に千葉市の幕張メッセ国際会議場において開催された。例年のごとく小生が聴講した講演の要約を報告する。

わが国はすでに高齢者人口が二十％を越え、二〇一五年には二五％を占めると予測されるほどの超高齢社会となるであろう。このような社会でも健康に老い充実した人生をおくって天寿を全うすることは理想的である。

特別講演Ⅰでは東京大学高齢医学講座の大内尉義先生が「超高齢社会における老年医学の役割と今後の課題」というテーマの中で、「Successful Aging」を実現するため具体的には老年疾患の診断、治療、予防法の開発などの確立や高齢者の介護体制の充実、さらに後期高齢者医療制度の正しい発展性の構築、高齢者医療の教育研

究体制確立の必要性があるという観点に立って、今後の老年医学の課題や展望を述べられた。

パネルディスカッションⅡにおける「高齢者終末期医療・病院外での高齢者ターミナルケアのあり方を探る」では、わが国の年間総死亡数は高齢化の進展とともに増加し始め、二〇〇三年には一〇〇万人の台に達している。この死亡数の増加は今後も続き、二〇三八（平成五十年）には一七〇万人に達すると予測されている。またその死亡場所は、かつては八割以上が自宅であったのに、近年は逆に八割以上が病院など自宅以外の場所となった。しかるに今日、

特定医療法人社団仙酔会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

病院など医療機関の経営状況は著しく悪化し、一般の病院での高齢者に相応しいターミナルケアを行うことは困難となりつつある。さらに政府はターミナルケアの重要な担い手である療養型医療施設の大幅な削減方針を打ち出しており、高齢者の死を迎える場所の確保がますます困難となっている状況である。これに対して政府は、在宅療養支援診療所や特別養護老人ホームにおける介護加算、介護療養型老人保健施設などの制度を新設して、医療機関以外でのターミナルケアを推進しようとしている。この意味から本パネルディスカッションでは、在宅でのターミナルケアについては、ふじ内科クリニックの内藤いづみ先生とライフケアシステムズの辻彼南雄先生がそれぞれ立場からがんの在宅緩和ケアや非がん疾患の終末期ケアについて自らの経験を踏まえて講演された。

また特別養護老人ホームでのターミナルケアについては京都府南病院の村井敦志先生が、その他の施設でのターミナルケアについては名古屋大学老年科の平川仁尚先生が担当され、わが国の病院外での高齢者終末期ケアの現状と今後の課題について解説され、その後演者及び出席者間でこの問題について活発に討論が交わされた。

パネルディスカッションⅢにおける「療養病床再編の行方」では、まず司会の高橋龍太郎（東京都老人総合研究所福祉と生活研究センター）先生と鳥羽研二（杏林大学高齢医学）先生が、人間は平均寿命が近づくころには、慢性的疾病と慢性的機能障害が日々の生活に出現し、それに応じてその家族では埋められない医療と介護の公的支援が必要となる。これまでは慢性病をもつ高齢者の入院はすべて「社会的」入院として扱われ、

療養病床が医療と介護両方のニーズに応える意味で主としてその役割を果たしてきた。しかしわが国の経済基盤を確保するためには、今までの制度を改める必要に迫られ、「介護のなかで求められる医療ニーズにいかに応えるか」ということに焦点を絞られ、療養病床再編に関わる先生方に講演を要望された。

最初に司会のお一人である高橋龍太郎先生が「長期療養高齢者と高齢者医療を担う医師の役割」について講演され、日本療養病床協会の武久洋三先生は「療養病床再編の行方、療養病床の現状と課題」のテーマで、高齢者にとっては療養病床の役割が特に重要かつ必要性の高いものであるがゆえに、慢性期医療の充実の必要性を強調された。東京女子医科大学東医療センター在宅医療部の山中崇先生は「在宅かかりつけ医」の立場から、療養病床再編に伴

う今後の在宅医療の現場の方向性について考察された。また全国老人保健施設協会河合秀治先生は「老人保健施設は今後どうあるべきか」というテーマで、老人保健施設は在宅療養支援機能を有していることから、今後はその役割が重要となるとする可能性の高いことを強調された。最後に厚生労働省老健局老人保健課の鈴木康裕先生が「制度立案の狙いとこれからの方向性」ということで、医療行政側の立場から従来の医療療養病床（医療保険適用）と介護療養病床（介護保険適用）には入院患者の状況には大きな差が見られず役割分担が明確ではなかったことから、

患者の状態に即した機能分担を推進するために療養病床の再編成を行い、高齢者の状態に応じた適切なサービスを効率的に提供していきたいと説かれた。病床の転換にあたっては、医療の必要性の高い人は医療療養

病床で対応し、その必要性が低く主として介護が要求される人は老健施設や介護保険施設での対応が望ましいとし、一方で介護療養型老人保健施設の基準も新設し、時間をかけて計画的に療養病床再編を行っていきたいと述べられた。講演終了後は演者や一般聴衆を交えて活発な議論がなされ、療養病床再編の問題がいかに重要視されているかを肌で感じた次第です。

以上が老年医学会における小生が聴講した各講演の要約ですが、詳細については院内シナポジウムで報告させていただきます。第五十一回日本老年医学会学術集会は、学会テーマを「社会が求める老年医療への展開」と題して二〇〇九年六月十八・二十日に横浜市のパシフィック横浜・ヨコハマインフォコムセンターホールにおいて開催される予定である。

七夕会



平成二十年七月十一日(金)、毎年恒例の七夕会を本館四階にて開催しました。患者様一〇五名、ご家族六名の方々に参加いただきました。内容として、午前の部がカトレア様(ボランティア)

「夏の日の一日」、レクリエーション委員会で唄体操「ふじの山」を行いました。

午前の部・午後の部も患者様やご家族の方々と一緒に楽しむ大変盛り上がる会にすることが出来たと思います。最後には、炭坑節を踊っ



の大正琴、事務部の合唱、午後の部が鼓銭会様(ボランティア)による太鼓や唄を、午後の部共に、リハビリテーション科による、「夏の日の一日」、レクリエーション委員会で唄体操「ふじの山」を行いました。

開催いたします。より良い会にしたいと思っております。多数のご参加、ご協力の程よろしくお願いたします。



て患者様にも大いに喜んで頂けました。

さて、少し気が早いですが十二月にクリスマス会を開催いたします。より良い

患者権利章典

「患者さん主体の医療」の理念の基に、患者さんは、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。

当院は、このような考え方にに基づき、ここに「患者権利章典」を定め、この「患者権利章典」を守って患者さんの医療に対する主体的な参加を支援いたします。

- ①個人の尊厳
- ②公平かつ良質な医療を受ける権利
- ③医療に関する説明や情報提供を受ける権利
- ④自分が受ける医療を自己決定する権利
- ⑤個人情報やプライバシーが守られる権利

患者さん及びご家族の皆様への参加と協力のお願い

医療は、協働作業であり、患者さんの主体的な参加の上に成り立つものでありますので、これらの患者さんの権利を守り、発展させるため、当院では患者さん及びその家族の皆様にも次のような事項を責任持ってお守りくださるようお願いいたします。

1. 患者さんの既往歴・入院歴・投薬歴、その他医療に関する必要事項について正確で完全な情報を伝えていただくこと
2. 患者さんの病状や当院の医療を十分に理解していただき、疑問点や理解できないことがある場合、その旨を医師または看護師に知らせていただくこと
3. 当院のすべての入院患者さんが快適な環境で医療・療養が受けられるように、病院内での規則と病院職員の指示を守っていただくこと
また社会的なルールを尊重し、他の患者さんのプライバシーなどの権利に配慮していただくことや、医療費を適正にお支払いいただくこともお願いいたします

「第16回 日本療養病床協会 全国研究会」に参加して

本館1階 北村 梢

学会発表が終わるまでは、その研究の限界や、未解決の問題、発表に際しての不安、また特に、危険を含む、例外的な結果が出たときは、研究に対して行き詰まりを感じたり、この研究を公表してよいものかと悩んだりしていました。

しかし、学会発表に参加させて頂き、発表し、自分たちが行った研究を世に問うことにより研究を深めたり、他の人の研究を聞くこ

とにより自分の視野も広がっていくことが大切であると思いました。質疑応答、議論、指摘や講評により、自分で抱え込まなかったことに気づいたり、今後の研究の示唆を得る大切さなど多くの学びがありました。結果から生じた問題点を、行き詰まりとしてしまっていました

が、今後の課題としていく。例外的な結果に新しい発見のヒントが隠れており、大切に分析する、そして、その研究の限界を明確にし次の課題を提示することで、一つの研究が終了したとき、新しい研究課題が見えてくるはずであり、研究活動は継続していくのだということを学び、捉え方が大きく変わりました

THE ASSOCIATION OF LONG TERM CARE HOSPITALS
FUKUOKA

た。また研究は、公表する価値が生まれることを実感しました。研究結果を一人することには、今回学んだことを含め、大きな意味があることを知りました。

院長先生をはじめいろいろな方々に御指導、助言いただき、また、患者・ご家族様など、協力していただき、実践の場での快い協力を得られること、パワーポイント作製、諸手続き、このようにたくさんのかかわる方々の御協力を厚く感じました。

指すという看護師の大切な持ち手を育み、よりよい看護実践の提供につなげていくよう努力していきたい

た。また研究は、公表する価値が生まれることを実感しました。研究結果を一人することには、今回学んだことを含め、大きな意味があることを知りました。

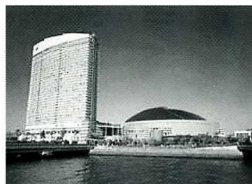
と思います。ありがとうございます。

本館1階 小林 貴子

看護研究発表のため、日本療養病床協会の福岡大会に参加させて頂きました。今回、福岡抑制廃止宣言からちょうど十年たったというところで、多くの抑制に関するシンポジウムや、看護研究が発表されました。その中で心に残った研究発表の事を伝達したいと思えます。

皆さんは「スピッチロック」という言葉があるのをご存知でしょうか？抑制には身体的抑制にあたるフィジカルロック、薬による抑制のドラッグロック、そして言葉による指示、禁止のスピッチロックがあります。

「くしてはダメです」「ちよと待つて下さい」などがありません。意外と日常的に患者様に使用している言葉で



はしないででしょうか？それらの普段なげなく使用している言葉を振り返り、自分が言われたらどう思うか、そしてどう言われたら嬉しいかを考える事でスタッフのスピッチロックに対する意識を高め、改善する事ができたという研究発表がありました。

当院も身体抑制に対して色々と取り組みを行っています。スピッチロックについても意識を高め改善していくことで、より良い看護につなげることができているのではないかと感じました。

2分間スピーチ



4月

南館2階 蒲木 秀美

本年度の上半期の接遇標語は「あいさつは笑顔を添えてはきはきと」です。それに関連して、職場の教養の冊子より紹介します。

病気やけがを自ら治そうとする「自己治療力」。この力は、眉間にしわを寄せてかんでも増しません。リラックサして微笑んだり、声を上げて笑うことで増進します。このことを証明する医学関係者が増えてきました。

「笑って患者の自己治療力を高めることをサポートし、また病気の予防をする人」と定義され、実力に応じて三・二・一級のランクを付け、全国に二〇〇名以上が認定されている「笑い療法士」もそうした取り組みのひとつです。

医師として勤務する坂下千瑞子さんは、自らもがんを患い、治療の過程で心を癒す笑いの大切さに気づき、笑い療法士三級の資格を取得した一人です。

声を上げて笑うフリをするだけでも、本当に笑うのと同様の効果があると言われています。しかめっ面がいかに損か分かってしょう。皆さんはどんな時に笑いますか？ また笑顔を取り戻

すためのノウハウをいくつ持っていますか？

「法度は、カブくて笑いを押し売りすること。かけがえない今日一日、鏡に映る自分に微笑みかけてスタートしましょう。

怒っても、腹を立てても、悲しんでも必ず朝は来ます。そして一日は一日なのです。だからその日を笑顔で過ごしましょう。

5月

薬剤課 寺本 和江

今日は二十年間私の心に留まっている言葉を紹介したいと思います。それは、京都にある石庭に有名な龍安寺のつくばいに刻んである言葉で、「吾唯足を知る」というものです。

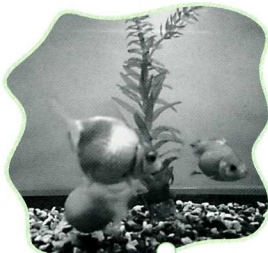
水を溜める部分が四角くくりぬいてあり、その四角い縁の形を「口」と見立て、四方に文字を配置して中心の口を共有すれば「吾唯、足、知」となります。

この粋な表現方法のせいもあるのに感謝して人生を生きる」ということになると思います。

日々忙しい時や身体具合が悪い時でも、常に回りの人や物に感謝の心を忘れないよう心がけていきたいです。



『吾唯足知』



リハビリ室の金魚達です

それがいつかは来るんだなど
 思うのですが、やっぱり別
 した。

まだまだ長生きするとは
 思ったのですが、やっぱり別
 した。

もう七ヶ月になりもう立派
 な大人の犬になって来まし
 た。初めの頃は誰に對して
 も恐がって大ししい犬だ
 と思っていました。最近
 はすごくワガママな犬にな
 っています。恐がる所か自分
 よりはるかに大きい犬に立
 ち向かって行ってしまっ

ど元気な犬になり、飼い主
 としては嬉しい反面、心配
 になる時もあります。
 自分が落ち込んだ時に言
 葉はないけれど分かっている
 のか、私から離れなかつ
 たりして私の宝物になりま
 した。

おあすめの店

本館2階 病棟アシスター 石原 幸子

私が紹介するお店は、野口町にあるデイ&
 リビングという雑貨屋さんです。居心地の良
 い空間にかわいい小物、アクセサリー、キッ
 チン用品など数多くの心惹かれる商品が置い
 てあります。よく見れば、他の店でも売られ
 ている物も普通にあり、別にココロじゃなく
 て…と思う時があります。でも、ついつい足
 を運んでしまい、店内を歩き回っているの
 です。何か特別に凄いものがある訳じゃないの
 で、おすすめポイントの一言が出てきません。
 けれど、良いお店です。何となく、行きたく
 なる場所。ぜひ一度足を運んでみてください。



編集後記

野球、サッカー等は実力を出しきれず少
 残念でしたが、ソフトボール、水泳、男子リ
 レー、フェンシングなど日本人選手の孤軍奮
 闘で寝不足気味だった北京オリンピックも無
 事終わりました。夏の暑さも少し陰りが見
 始めたのですが、福田首相が突然辞任表明
 を行い、オリンピックで沸いていた熱がしぼ
 んでしまったような気がします。

私の家には犬がいます。
 昨年十二月に飼いはじめ
 ました。初めの頃は誰に對
 しても恐がって大ししい犬
 だと思っていました。最近
 はすごくワガママな犬にな
 っています。恐がる所か自分
 よりはるかに大きい犬に立
 ち向かって行ってしまっ
 ど元気な犬になり、飼い主
 としては嬉しい反面、心配
 になる時もあります。
 自分が落ち込んだ時に言
 葉はないけれど分かっている
 のか、私から離れなかつ
 たりして私の宝物になりま
 した。

リレートーク

本館2階 アシスター

永演 早紀

思うと、できるだけ、一緒
 に遊んだり、散歩に行っ
 た。最後まで楽しんであ
 げたいと思います。
 これから夏に向けて暑い
 日が続く、夏バテ気味にな
 ってきたら、一緒に海に
 行って泳ぎたいなど、計画
 中です。

いなみ野病院 概要

診療科目	内科、リハビリテーション科
病床種別	療養病床 290床
	(医療保険 1病棟 50床)
	(介護保険 4病棟 240床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料
- 療養病棟療養環境加算 3
- 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)
- 運動器リハビリテーション(Ⅰ)
- 入院時食事療養(Ⅰ) ・栄養管理実施加算
- 薬剤管理指導料

介護保険

- 病院療養型 I型
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制

理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他